

「3・11 に鎮魂の歌を歌おう」

—国内外演奏会場 17ヶ所決定!—

昨年、10月にスタートした「鎮魂の歌を歌おう」の呼びかけは3月末まで続けられます。2月18日(月)、第41回カトリック小学校連合音楽会で星美学園小学校6年生の演奏を皮切りに国内外17会場で、3月30日まで東日本大震災犠牲者に鎮魂の祈りを捧げるために演奏されます。

子ども達が成長し大人となり、人生の岐路に立ったときの道しるべとなってくれる歌になる事を信じ、懸命に頑張ってる「子ども達に贈る歌」でもあります。各地の会場に参加し、あるいは仲間と共に歌ってくださる事を希望します。今月はEEC本部に届いたプログラムを紹介します。

資料:「鎮魂の歌」特集I <http://www10.plala.or.jp/yasnoli/eec/requiem.html>

“海に向かって歌う”



東日本大震災の犠牲者の鎮魂のために

横浜山下公園氷川丸前 横浜少年少女合唱団

http://ybgc.info/about_us.html

日時: 3月9日(土) 午後2時~3時

(代表者: 島田桂子 〒227-0000 横浜市磯子区久木町 15-5 TEL045-761-0198)

プログラム

総合司会: HR. 前会長 相田弥生

- 1 開会の言葉 HR. 歌唱グループ代表 牧野三男
- 2 挨拶 YBGC 代表 島田桂子
- 3 謝辞 (1) 「鎮魂の歌」を歌う会代表 高館千枝子
(2) 「鎮魂の歌」作曲者 太田代政男
- 4 演奏 指揮 牧野三男
(1) 「鎮魂の歌」合同演奏(二部合唱) 伴奏 中野友裕
「鎮魂の歌」聴衆と共に会場全体で歌う
黙 禱(2時46分) 東日本大震災犠牲者を偲んで
(2) 「花は咲く」 YGGC 指揮 飯田聖美
(3) 「あすという日が」 YGGC 指揮 飯田聖美
(4) 「希望・ラ・エスペーロ」合同演奏(合唱) 指揮 牧野三男
- 5 閉会の言葉 HR 相田弥生

“賢治の里” から 3・11 犠牲者に捧げる「鎮魂の祈りと歌の夕べ」



日時：平成 25 年 3 月 9 日（土）午後 6 時～
会場：松庵寺（花巻市双葉町 6-4 Tel:0198-23-3033）
主催：合唱団ビリーヴ（代表:佐藤貴子）
協力：浄土宗「松庵寺」（住職:小川 隆英師）

プログラム

- [第 1 部] 追悼法要 松庵寺住職 小川隆英師
[第 2 部] 慰霊と復興の誓いのコンサート
合唱：合唱団ビリーヴ（25 名）
指揮・独唱：太田代政男
ピアノ：池田好典 他
演奏曲目：「鎮魂の歌」「ふるさと」…参加者の皆さんと一緒に（約 100 名）
「心の瞳で」「あすという日が」「青い大地に夢は始まる」
「イーハトーヴの風」
-

“^{こずかた}不來方の大地” から

3・11 犠牲者に捧げる「鎮魂の祈りと歌の集い」



日時：平成 25 年 3 月 10 日（日）午後 2 時～
会場：盛岡パプテスト教会（盛岡市天神町 10-4Tel:019-622-0617）
主催：男声合唱団コール M（代表：宮野哲美）
協力：盛岡パプテスト教会（牧師：大須賀 真人 師）
賛助出演：コーラスすずらん（代表：久慈ミツ子）

プログラム

[第 1 部] 追悼礼拝 盛岡パプテスト教会牧師 大須賀 真人 師

[第 2 部] 慰霊と復興の誓いのコンサート

合唱：男声合唱団コール M（30 名）、コーラスすずらん（16 名）

指揮：太田代 政男 ピアノ：稲生 創 ・池田 好典

演奏曲目：「鎮魂の歌」「ふるさと」…皆さん一緒に（約 70 名）「見よかの蒼空に（啄木）」
「復興の歌」「青い大地に夢は始まる」「時代」他

「ともに歌おう 鎮魂の歌」一日も早い復興を願って

出演者大募集：唯一、被災地での演奏です。全国から唐丹町で歌う人を募集中。初心者大歓迎！



日 時：2013年3月13日（水）午後12時30分から
会 場：盛岩寺本堂 〒026-0121 釜石市唐丹町小白浜 453 番
主 催：「唐丹希望基金 2012」 代表：高館 千枝子
協 力：盛岩寺 住職 三宅 俊禅 師
釜石合唱協会：代表 菊池 征毅
指揮者：牧野 三男
伴奏者：木下 詩及（釜石市千鳥町）

プログラム

（開演：12時30分）

1. 追悼法要 盛岩寺住職 三宅 俊禅 師
2. 焼 香 代 表 者
3. 慰霊と復興を願うコンサート
 - ◆ 挨拶 高館 千枝子・牧野 三男
 - ◆ 演奏 指揮：牧野 三男 伴奏：木下 詩及
 - (1) 鎮魂の歌（日本語版）
 - (2) 鎮魂の歌（エスペラント版）
慰霊の言葉：2名(1番と2番の後にハミングに合わせ慰霊の言葉)
 - (3) Ave Maria Caccini
 - (4) 希望・La Espero（日本語版）
 - (5) ふるさと

◆ 指揮者 牧野 三男氏（まきの みつお）

紹 介：東京都豊島区池袋出身。1930年生まれ。
横浜エスペラント会・現 歌唱グループ代表
元聖ヨゼフ学園小学校合唱隊指揮者

◆ 連絡 ①出演者の集合時間：午前10時20分

②合同練習：午前10：30～12：00 昼食：～12：20 演奏12：30～

③出演者の楽譜、昼食（軽食）は本部で準備します。

④参加希望者は準備の都合がございますので、下記にお知らせください。（締め切り3/8）

連絡先：高館 千枝子 Tel/fax:019-697-3851 Mail:tchieko@cocoa.ocn.ne.jp

◆ 盛岩寺までのアクセス

盛岡駅出発①3/13 盛岡駅南口交番前 7:40 集合→車で釜石に向かう。（希望者は、高館にお知らせください。）

会場直行者①東北新幹線 新花巻駅下車、釜石線新花巻駅発 9：19（快速はまゆり1号）→釜石駅着 11：04

②東北本線 花巻駅下車、釜石線花巻駅発 9：12（快速はまゆり1号）→釜石駅着 11：04

③釜石駅から唐丹町盛岩寺までタクシー（約20分）

④唐丹中学校前発 14：50→釜石駅前着 15：14

// 15：19→ // 15：43

「東日本大震災メモリアルコンサート」

《東日本大震災から2年。今私たちが伝えたいこと》

- 趣旨：
- 東日本大震災を忘れないでいよう
 - 東日本大震災で犠牲になった方々の冥福をお祈りする
 - 東日本大震災の被災地の復興を歌で応援する
 - 合唱隊「釜石写真展」の締めくくりとして、できるだけたくさんの方々に被災地の写真を見て頂く。

※合唱隊が一昨年岩手県釜石市で撮影した「釜石写真展」の写真をステージに展示し、釜石の写真をバックにして歌う

※「合唱隊：釜石写真展」を町屋文化センター2階にて同時に開催。最終日にコンサート実施。

※これまで「釜石写真展」で展示をさせていただいた学校にも、子供達がてがけた作品、研究発表を展示していただき、参加して頂く。

※東日本大震災復興応援募金の募金箱を会場内に設置
(集まった募金は荒川区社会福祉協議会にお願いする)

日程：2013年3月30日(土)

時間：開場13時 ・ 開演13時30分 ・ 終演15時頃

会場：東京都荒川区町屋文化センター2階ふれあい広場

主催：東京荒川少年少女合唱隊 (<http://arakawa-bgc.com/>)

A C C (公財) 荒川区芸術文化振興財団

共催：荒川区

後援：荒川区社会福祉協議会・荒川区教育委員会

内容：合唱30分・朗読20分・映像10分(合計60分~90分)の構成

映像：釜石の虎舞の復活：テレビ東京放映(3/13)のDVD(現在の釜石の様子)

朗読：池田洋子(シルバー大学講師・朗読グループ「朗読ユニットA I U」代表)

合唱：「明日と言う日が」 山本瓊子作詩・八木澤教司作曲

「鎮魂の歌」 千葉隆男作詞・太田代政男作曲

他

(※東京荒川少年少女合唱隊の演奏と一緒に歌う事は出来ません。)

※同時開催：合唱隊釜石写真展&パネル展(町屋文化センター2階ふれあい広場)

3/24(日)~3/30(土)16時まで

<スケジュール>

3月 23・24・25・26・27・28・29・30

土 日 月 火 水 木 金 土

搬入

演奏会&搬出

展示作業 ← 写真・パネル展時 → 4時まで

【2月1日から2月28日までの支援者21名 通帳記帳通りの表記で記載】

右原君江、齋 巖、赤澤典子、須田希江子、松岡喜美子、松沢有奈、埼玉県匿名、高館千枝子、内山武村山代利子、高木健一、菊池定則、山本和子、町田浩子、堀泰雄、堀玉枝、橋口成幸、井上和子、黒岩百合子、齋藤ツメ、松沢有奈

【支援金振込み先】◇郵便口座 記号：18390 番号：13087781 高館千枝子宛

◇4月から「唐丹希望基金2013」として3年目の支援活動をします。

— お知らせ —

①唐丹町への支援物資送り先

★〒026-0041 岩手県釜石市上中島町3-4 上中島仮設住宅27-4 柏山セツ (TEL:0193-25-3378)

★〒026-0041 岩手県釜石市上中島町3-4 上中島仮設住宅28-5 佐々木政代 (TEL:090-3369-2093)

★〒026-0121 岩手県釜石市唐丹町花露辺127-2 下村恵寿 (TEL:0193-55-3031)

★〒026-0121 岩手県釜石市唐丹町大石字向54 大石仮設住宅1-1 大向惣三 (TEL:090 2367 6084)

② 支援者の声

◆ 昨日 EEC 通信 33 号を拝見致しました。有難うございました。

多くの小学生や中学生の感謝の気持ちが文字にあふれていて逆に励まされ

感謝の気持ちでいっぱいになりました。決して忘れないようにしようと思いました。

12月13日の様子が目に浮かび大勢と一緒に過ごすことは楽しいな—と思いました。 青山充子

◆ やっとの思いで、EEC33号を見つけました。

初めの長谷川恵美さん、赤澤典子さん、青山充子さんの文章は心に染みしました。

思わず涙が溢れました。

やはり実際に現地に触れないと、身体で理解するのは難しいですね。

「現地の子供たちから逆に元気を頂いた」と言う言葉には共感します。牧野 三男

◆ 堀 泰雄さんの被災地訪問展

テーマ： 震災の写真と遺品展

今でも被災地に行くと、更地になった宅地に、お皿や玩具、工具や人形などが残っています。それらは、やがてはブルドーザーの下で粉々にされてしまいます。いわゆる瓦礫です。そういう「がれき」が、私に、「まだ生きています」と叫ぶのです。そういうものを私はたくさん拾い集めてきました。すべてのものには命があり、まだ使えるものは自分の家で使っていますし、使えないものも、今回の展示で皆さんにお見せすることで、生きてもらいたいものだと思っています

期日： 第一期 2月21日から3月20日まで (土日は休み) 朝9時から夕方5時まで

第二期 3月21日から4月中旬まで (もちろん別の展示物です)

場所： 上新田郵便局： 371-0821 前橋市上新田町238

(県道前橋・藤岡線で育英高校・済生会病院を更に南へ行ったところ、西側)

電話： 027-251-0814 ファックス： 027-252-7916

展示者： 堀泰雄 371-0825 前橋市大利根町2-13-3

Tel/Fax： 027-253-2524

メール：horizonto@water.sannet.ne.jp

経歴： 71歳、元教員、年金生活者、エスペラント語作家

EEC 東日本大震災教育支援活動

EEC 通信 34 号

2013年2月28日